



「競争の番人2」
新川 帆立／著



九州事務所への転勤を命じられた公正取引委員会の審査官・白熊楓。いくつきの部署に配属され、慣れない土地での生活に苦しみながらも、内偵業務のエース・常盤と呉服業界の内偵に乗り出し…。『小説現代』連載を加筆訂正。

「どっちが強い!? X12」
エアーチーム／作



超進化した生物・恐竜キッドとの戦いの行方は!?「どっちが強い!?」と「恐竜キングダム」の2シリーズがクロスオーバーした学習まんが。空想生物たちとのスリリングなバトルを読み進めるうちに自然と科学知識が身につく。

今月のテーマ展示
「My favorite book」特集



10月27日～11月9日は秋の読書週間です。毎年、市内の小学生におすすめの本を紹介してもらい、その本を図書館に展示します。普段なかなか手に取らない本も、誰かのおすすめだと手に取ってしまうかも。ぜひ読書の秋をお楽しみください。

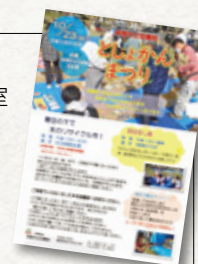
イベント情報

～としょかんまつり～

図書館で役目を終えた本、各家庭で役目を終えた本を次の読みたい方へつなげます。

●日時＝10月23日(日)
午後1時～午後3時

●場所＝市文化会館前広場
※雨天時は市中央公民館体育室
(旧アクティブセンター)



- 串間市立図書館
☎ 72-1177
- 開館＝午前10時～午後6時
- 休館日＝毎週月曜日
- HP＝<https://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html>

新刊情報

越境刑事(中山 七里／著)
晴明変生(森谷 明子／著)
丹野智文笑顔で生きる(丹野 智文／著)
南町奉行と火消し婆(風野 真知雄／著)
三世探偵団(赤川 次郎／著)
ループ・オブ・ザ・コード(荻堂 顕／著)
家裁調査官・庵原かのん(乃南 アサ／著)
あきであそぼう(高橋 京子／監修)
他多数

市長コラム

組織の責任者

柿、栗、みかんが色づき

始め、いよいよ「味覚の秋」の到来です。秋の夜長、虫たちの合唱に癒やされ、つい晩酌が進んでしまいますが、それも健康であるからこそと幸せを感じます。秋のお彼岸にはお墓参りで、丈夫な体にて育ててくれた両親に感謝の念をささげます。両親が亡くなった今、生きているときにもっと優しく親孝行できなかつたかと反省もしています。

私は組織を守る責任者であります。その中で自分なりにモデルとしているのが新選組の近藤勇と土方歳三で、その生き方、組織の責任に憧れています。鬼の副長として規律を徹底的に重んじていた土方歳三。共に新選組を結成した山南敬

助は、近藤や土方との意見の対立で新選組を脱走し、近藤と土方は隊規違反者として粛清します。組織を守るためには盟友に対しても手段を選ばないほどの徹底ぶりですが、近藤は、文武に長け、温厚な人柄で隊員に慕われていた山南の粛清に心を痛めたという話もあります。

「泣いて馬謖を斬る」という言葉があります。中国の三国時代、蜀の軍師であった諸葛孔明は、手下の馬謖が命令に従わず魏に大敗したため、泣いて粛清を命じたということからできた言葉で、規律を保つためにはたとえ愛する者であっても、違反者は厳しく処分することのたとえです。

この言葉のようにまでは

いきませんが、ときには厳しい指導もしなければならぬと思っています。また、間違いが起こったときは、上司へ速やかに報告・相談をしながら適切に対応し、再発防止に向けて対策を立てることが大事です。私自身もこのことの大切さについて日々指導を受けてきま



都井岬に咲くヒガンバナ

先日亡くなられた京セラの名譽会長である故稲盛和夫さんは「部下を守れないトップは資格がない。会社が発展するのは社員が頑張っているからこそである」と部下のことを全力で考えサポートすることを常に考えられていて、部下にも指導されていました。

仕事は責任を持つて一生懸命頑張る。時には大変なこと、辛いこともあると思いますが、苦労坂を上る勇氣や根性も必要だと私は考えています。私自身も部下に信頼されるよう自分を磨かないと「責任者としての資格がない」と稲盛さんに注意されそうだと、秋の夜長を感じつつ考える今日この頃です。

地域おこし協力隊 活動日記



No.66 ありがとうございます これから



かいみちと
甲斐 道仁さん

気付けば串間に移住して3年が経とうとしています。高速を走っていたら車が故障し、紆余曲折を経て串間に辿り着いたことが、今となっては懐かしい思い出です。農業について漠然としたイメージしかなく、農業とは? というところから、串間の農家の皆さんに「農業について」、「作物について」などいろいろなことを学ばせていただきました。

そして、ピーマンでやっていくことを選んでからの時間はあっという間でした。串間のピーマン生産者の方々に具体的な生産方法ははじめ、ありとあらゆることを学ばせていただきました。とても濃い1年間を過ごしました。串間での濃い1年があったからこそ、みやざき農業実践塾での栽培研修で成果を上げることができましたし、就農してからの問題点の洗い出しもできました。今年度の7月に串間に戻ってからは、就農に向けて関係各所との打ち合わせや、就農するハウスの改修工事などできることは自分で作業したので、目まぐるしく時間が過ぎていきました。

農家出身でない者が就農に辿り着くまでには、思い通りにいかないことや、もどかしいこともありましたが、こま



「ありがとう串間駅」 新駅舎リニューアル前に 福島高生が旧駅舎を見学しました

串間駅は今年度、建物の老朽化のため新駅舎にリニューアルします。リニューアルを前に、福島高校2年生の地域創生学の生徒は8月25日、旧駅舎への感謝の気持ちを込めて見学を行いました。

同駅は1962年(昭和37年)に開業し、60年間串間の玄関口として地域を見守り続けています。

新駅舎は室内待ち合いスペースを設置し、利用する皆さまに快適な空間を提供。今年度中に完成し、来年度4月にオープン予定です。

見学で生徒たちは、慣れ親しんだ駅舎を名残惜しそうに見ていました。

参加した生徒は「いつも通学でJRを利用していますが、串間駅の駅舎は色、デザインともに目立つ串間のシンボルだったので、解体されることを寂しく思います。しかし在学中に新しい駅舎を利用することができるので、完成を楽しみにしています」と新駅舎への期待を膨らませていました。



【問い合わせ先】
総合政策課地域振興係
☎ 55-1153